



# 六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.60  
六甲山石の宝殿と修験道/  
山下 清志  
2008年3月発行



石の宝殿前で宮司の山下さんたち

## 第60回テーマ： 六甲山石の宝殿と修験道

### 講演内容

- 石の宝殿に奉仕して22年
- 石の宝殿の資料を後世に伝えたい
- 「神さんのごほうび」を日々実感

実施日：平成20年3月15日（土）

午後1時～3時30分

場 所：六甲山YMCA里見ホール



講師：<sup>やました きよし</sup>山下 清志さん

### プロフィール

1944年西宮市出身（63歳）。メーカー勤務を経て、神職の資格を取得し、父親の跡を継ぐ。石の宝殿に奉仕するようになって22年。毎週末は石の宝殿に住んで、周辺地域の整備などを行っている。

## 雪解け

思えば毎週のように雪が積もっていた今年の冬の六甲山。積もっていた雪は消え、春になりました。

午前中の整備活動には10名が参加。先月は大雪で区画の確認もままありませんでしたが、今月は整備エリアの区画割りや、照度測定など、作業はかどりました。



アセビも開花間近です→

## ホラ貝で盛り上がったセミナー

市民セミナーは石の宝殿宮司の山下さんが講師です。山下さんは会社勤務の傍ら、週末にボランティアで宮司をされています。

山下さんのホラ貝をお借りして、ホラ貝演奏を体験しました。参加者の皆さんには真っ赤になってホラ貝を吹く方も。音が出た人は少なかったようですが、山下さんの気さくなお人柄と相まって、いつにも増してアットホームな雰囲気のセミナーになりました。



ホラ貝

## 石の宝殿は六甲山上の文化遺産

石の宝殿は、古来は巨石信仰の場所としてはじまり、約400年前に麓の集落の人たちによって、雨乞いのための石の祠が建てられたそうです。

どこの神社にも属さず数百年受け継がれてきた、民間信仰の神社としては珍しい存在だそうです。今でも他府県から探し当ててこられる人もいます。

山下さんはサラリーマンをされていて、宮司になる気はなかったそうですが、病床のお父さんに頼まれて継がれる決心をされました。以来22年、最近では「神さんのごほうび」を実感されているそうです。

## 石の宝殿への関心を深めた

山上の東端に位置し、周辺施設も少なく、知る人ぞ知るといった石の宝殿が長い歴史を持つ文化遺産ということを知り、石の宝殿に行ってみたくなりました。

今回で市民セミナーは無事5年目、計60回が終了しました。来年度もバラエティ豊かな講師をお呼びしております。ぜひセミナーにお越し下さい。来月は自然保護センターに会場を移して開催します。

※詳しくは、1、2ページをお読みください。

## 参加の感想 田中 弘子さん

グループで「石の宝殿」の紙芝居を書いております由に、今日の宮司山下さんのお話はすごく参考になり、おもしろく聞かせて頂きました。人々の思いをこめて宝殿が作られた事や修験者の自然と共に生き、自然の力を超越する為に修行するなどの事を知りました。法螺貝を吹く経験もさせて頂き、喜びも感じましたが、むずかしいです。色々と貴重なお話をありがとうございました。



主催：六甲山自然保護センターを活用する会

協力：兵庫県立人と自然の博物館

後援：兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会

【助成金をいただいている機関】

コベルコ環境保全基金、セブン・イレブンみどりの基金  
ひょうご環境保全創造活動、コープこうべ環境基金  
しみん基金・こうべ